

地域ネットワークニュース

～平成25年11月の勉強会のお知らせ & 10月の勉強会報告～

第190回 地域ネットワーク勉強会

『子どもの発達段階と発達障害』

講師：茨城県発達障害者支援センター
大野真裕氏〈センター長／臨床心理士〉



11月20日(水)
午後7時～午後9時
神栖市保健・福祉会館内
参加費無料

「発達障害者支援法」では、発達障害とは自閉症、アスペルガー症候群、その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害などの脳機能の障害で通常低年齢で発現するもの、として定義づけられています。原因についてははっきりしていませんが、脳機能の働きに生まれつきの特徴があると考えられています。

発達障害は一見ただけではその特性や苦勞が分かりにくく、親の育て方や本人の努力不足などと誤解されやすい障害です。また障害特性も様々なため、その人の状況に応じた理解と支援が必要となってきます。

そこで今回の勉強会では、発達障害のある子やその疑いのある子は具体的にどのような場面で生活上の困難さを抱えているのか、どのような支援が望まれているのか、子どもの発達段階と発達の特徴を照らし合わせながら考えていきます。

さらに、来月の勉強会（12月4日）では‘子どもの運動発達は遊びがポイント’をテーマに、子どもの遊びと運動発達について、県立こども福祉医療センター作業療法士 川野辺弘子氏より伝えて頂きます。

今回の勉強会と合わせて参加頂くことでさらに理解が深まります。発達障害児支援に関心のある方等々お問い合わせの上、是非ご参加ください。

※今回の勉強会は、『第6期発達障害療育者研修会』との合同開催となっています。この研修会は保育士、幼稚園・小学校教諭等、日々多くの子どもに関わっている先生方で、全5回すべてに参加可能な方を対象とした研修会です。詳しくはお問い合わせ下さい。

※事前申し込みが必要です。別紙申込書もしくは電話にてお申し込み下さい。

申込・問い合わせ先：神栖市社協 地域福祉推進センター 担当：三浦 電話 0299-93-0294



第189回 地域ネットワーク勉強会報告 10月29日開催〈参加者36名〉

相談援助のスキルアップ！～聞き出す力を身につけよう～

講師：神栖ケアサポートセンター 管理者 土井真理氏

「対人援助職は、相談対応時に相談者の個別の感情や考え方、環境状況を把握せずに表面上に現れた課題やニーズだけを捉え、その解決だけを急いでしまうと根本的な解決にはなりません。相談者が自分の力で答えを導き出せば一番良い。そのためには、支援や援助が必要です。その方法を探りましょう。」という土井さんの優しい声で始まった今回の勉強会。土井さんの対人援助に対しての深い考え方や面白い話に参加者は引き込まれていきました。

自分自身を知ることが人の理解を深めることへの近道です。誰にも癖や偏りはあるものです。それを知っているのと自覚しないのでは大きな差があります。対人援助職、ワーカーの職種にこだわらず、誰もが支え・支えられる社会である認識が欲しいです。お互いを尊ぶことが理想ではなく現実にしていく活動が重要です。まずは自分自身が社会での役割をきっちりと果たしていきましょと参加者に伝えて頂きました。